

人と魚と海のネットワーク
香川県漁連ホームページ
<http://www.jf-net.ne.jp/kagyoren/>
 E-mail:gyoren@kagawa-gyoren.or.jp



JF 高松市北浜町 8 - 25
 TEL 087-825-0350
JF 香川漁連 FAX 087-851-0699

「香川県フェア」を大阪で開催 — 香川県産ハマチをPR —

本会では、香川県、香川県かん水養殖漁業協同組合、香川県水産振興協会との共催で、香川県産養殖ハマチ・ブリを中心とした県産水産物の販路拡大やブランド化を推進することを目的に、11月30日～12月2日の3日間 大阪市鶴見区のジャスコ鶴見店において「香川県フェア」を開催した。



熱心に水槽に見入る子供たち

フェア初日の30日は、同店中央入口におさかなシャトルを設営、ハマチ、マダイ、ヒラメ、タケノコメバル等15種類、約100尾の泳ぐお魚を展示し、来店者に香川県産のお魚をPRした。また、午後から2回、各回100名の来店者を対象に「お魚ビンゴゲーム」を行い、ビンゴ賞として県産ハマチフィレやいりこ等をプレゼントし、フェアを盛り上げた。店内鮮魚売り場では、県魚ハマチを使ったしゃぶしゃぶ「さぬき出世鍋」の試食会も開催し、大阪の人達に香川県産ハマチの美味しさを堪能してもらおうと共に安心・安全を訴えた。展示即売コーナーでは、ハマチ、ブリはもちろんのこと県産天然魚をはじめ、煮干し、チリメン等の水産加工品が販売された。また、今年度は「野網和三郎生誕100年」、「ハマチ養殖80周年」についても随所でPRし、あらためて香川県がハマチ養殖発祥の地であることを消費者に訴えた。午後5時には、真鍋香川県知事、

服部会長、嶋野県かん水組合長らが同店を訪れ、先着300名に伊吹産「いりこ」を配りながら、来店者に県産水産物のPRと購入を呼び掛けた。期間中の3日間、西日本地域のジャスコ約70店舗において県産ハマチ・ブリ約4,000尾を販売し、大盛況のうちにフェアは幕を閉じた。

今回の香川県フェアでは、ジャスコの担当者からも、一般消費者からも香川県産水産物が高く評価されたことから、今後ますます食の安心・安全、新鮮・美味しいをPRしながら販路拡大に努めていきたいと感じた。

第35回高松地区乾のり品評会開催

海苔生産技術と品質向上を目的とした高松地区海苔養殖研究会(会長:新開義明)主催の第35回高松地区乾のり品評会審査会が、1月18日高松市瀬戸内漁業センターで開催されました。

当日は審査員に香川県漁連の検査員2名を招き、地区全会員60名から出品された60点の乾のりを審査基準に従って厳正に審査し、入賞を決定しました。

また、出品された乾のりについては、高松市内の「社会福祉法人 さぬき」と「讃岐学園」に寄贈するほか、2月9日・10日にサンメッセ香川で開催される「食と農のフェスタ」で焼海苔・味付海苔に加工してPR販売を予定しています。

なお、入賞者は次のとおりです。

第35回高松地区乾のり品評会受賞目録

賞名	受賞者	ブロック名
市長賞(団体賞)	香西漁業協同組合	
市長賞(個人賞)	大石 芳孝	香西
香川県農政水産部長賞	阿部 清隆	香西
高松市議会議長賞	藤本 聖二	下笠居

香川県漁業協同組合連合会長賞	明石 寛	香 西
香川県海苔養殖研究会会長賞	北野 広治	高松市瀬戸内
(社)香川県水産振興協会会長賞	石田 貴之	直 島
香川県信用漁業協同組合連合会長賞	大江 哲夫	屋島・女木・男木
高松市漁業協同組合連絡協議会長賞	小川 久勝	屋島・女木・男木
高松地区海苔養殖研究会会長賞	石田 昌次朗	直 島

主な行事予定(2/1~2/29)

- 2月 7日(木) 北方領土返還キャンペーン(ゆめゆ)
- 9日(土) 第6回乾のり入札
- 18日(月) ワーサン100実行委員会
- 23日(土) 三豊地区漁業者検討会
中讃地区漁業者検討会
- 24日(日) 第7回乾のり入札
- 26日(火) 高松地区漁業者検討会
東讃・小豆地区漁業者検討会

「ワーサン100作品展」審査会開催

本年は、日本のハマチ養殖の先駆者、野網和三郎氏(愛称:ワーサン)の生誕100年にあたり、同時に東かがわ市引田の安戸池でハマチ養殖が始まって80周年という節目の年である。そこで、これを契機として平成19年度には「野網和三郎生誕100年・ハマチ養殖80周年記念事業実行委員会(構成:香川県漁業協同組合連合会、香川県かん水養殖漁業協同組合、引田漁業協同組合、香川県、東かがわ市)を設立し、記念事業や試験研究を実施している。この記念事業の一環として、県内小学生を対象に「ワーサン100作品展」を実施し、応募のあった習字・絵画作品について審査会が行われた。応募状況、審

査員の先生方は下記のとおり。

平成19年11月26日(月)(習字の部)

- (1) 応募総数 1,177点(48校)出品数 525点
- (2) 審査員(敬称略)

松本 昌郎 高松市立一宮小学校校長
(県小学校教育研究会書写部会会長)

中西 眞理子 高松市立川島小学校校長
(県小学校教育研究会書写部会副会長)

森 布枝 高松市立多肥小学校校長
(県小学校教育研究会書写部会副会長)

平成19年11月27日(火)(絵画の部)

- (1) 応募総数 345点(30校)出品数 190点
- (2) 審査員(敬称略)

福家 清 三木町立田中小学校校長
(県小学校教育研究会図工部会会長)

熊野 明美 高松市立花園小学校校長
(県小学校教育研究会図工部会副会長)

吉原 功雄 香川大学教育学部附属高松
小学校教諭
(県小学校教育研究会図工部会書記長)

習字・絵画の作品出品総数が合計で715点もあり、審査にあたる先生方も力作ぞろいの作品に頭を悩ませていたが、各部門において、水産庁長官賞1点、県知事賞2点、県教育長賞2点、東かがわ市長賞2点、特別賞の野網和三郎賞1点、入選12点の合計20点(両部門の合計40点)の作品を選出した。

これらの入賞および入選作品は、12月7日開催の野網和三郎生誕100年・ハマチ養殖80周年記念事業実行委員会において正式に決定された。

なお入賞者は、平成20年3月2日(日)ベッセルおおちにて開催される記念式典において、表彰され、作品は記念誌に掲載される。



力作を前に熱心に審査する先生方

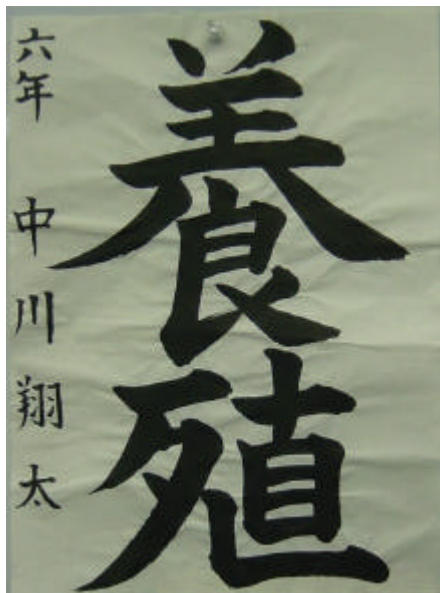
水産庁長官賞



東かがわ市立相生小学校3年 中川啓也さん



高松市立安原小学校1年 田川さつきさん



東かがわ市立丹生小学校6年 中川翔太さん



高松市立十河小学校5年 三好里佳さん

県知事賞



宇多津町立宇多津北小学校4年 西原一毅さん



丸亀市立垂水小学校1年 佐々木みなもさん

こんにちは、坂出税関です。



みなさん、私は、坂出税関支署で勤務する河合と申します。出身地は神戸で、昨年7月の人事異動により坂出で勤務することになりましたのでよろしくお願ひします。不審船舶・不審人物等の情報収集等のために皆様方が所属する漁協組合等へ訪問させて頂いています。「ちょっとおかしいなあ」と思ったらどんな些細なことでもご連絡頂ければ有り難く思います。

【坂出税関支署 0877-44-9211 又は神戸税関 0120-461-961】

興味のある方は、税関のホームページにもアクセスしてください、おもしろい情報がたくさんあります。

まず初めに左上のマークを紹介します。このマークは昨年の11月から使用することになりました税関ロゴマークです。

航空機と船とゲート(門)を組み合わせ、ゲートに中の秤は公平、鍵は保全を示しています。また、まわりの3つの桜は、税関の使命を示しています。(安全、安心な社会の確保、関税等の適正、公平な課

税関の主な仕事を簡単に紹介させていただきます。

密輸出入などの取締り

港や空港などで貨物の積卸しや船舶、航空機の出入りを監視、また、輸出入される貨物や海外旅行者が持ち帰る携帯品などの検査を行って、国民の安全や健康を脅かす覚せい剤、大麻などの不正薬物やけん銃などの密輸出入の取締りを行っています。

輸出入貨物の適正通関

貨物を外国へ輸出又外国から輸入する貨物は、税関へ申告し許可を受けることが必要です。その申告が正しく行われているか審査し、また、必要があればX線機器・麻薬探知犬等を活用した貨物検査を行っています。

関税及び消費税等の徴収及び輸入許可後の事後調査

輸入申告された貨物などに発生する関税などを徴収しています。年間の徴収額は、約5兆円で重要な税収の一つです。また、輸入許可後その申告内容を輸入者などの関係者に対して事後調査を実施しています。これは、関税等を免れる目的等による不適切な申告を是正するとともに適切な指導等を行うことにより、適正な課税を確保し、もって適正な申告を行っている輸入者との課税の公平を図ることを目的としています。



税関キャンペーンの様様
(於：H19.12.15 伊予高松ショッピングセンター)



航空機旅客が身辺に隠匿して密輸入しようとした覚せい剤を摘発